

国立民族学博物館研究報告 vol.7-3; 表紙, 目次ほか

雑誌名	国立民族学博物館研究報告
巻	7
号	3
発行年	1983-01-25
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009244

1982・9 7.3 号

国立民族学博物館 研究報告



北ハルマヘラ諸語の子音対応とガレラ語の示す古音———和田祐一

A Historical Study of gLo Tibetan———NAGANO, Yasuhiko

マヤ文字の言語———八杉佳穂

『ムラユ王統記』におけるマレー語動詞文の構造———柴田紀男

会話場面における人の概念の類型論 (I)

———人称代名詞の etic な成分の再考———吉田集而

ブラジル北東部における民衆の小冊子

———リテラトゥーラ・デ・コルデル———荒井芳廣

明治初期における山村の食事と栄養

———『斐太後風土記』の分析を通じて———藤野淑子

博物館とコンピュータ———及川昭文, Raymond VÉZINA



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

7 卷 3 号

1982年9月

目 次

北ハルマヘラ諸語の子音対応とガレラ語の示す古音……………和田 祐一……………	423
A Historical Study of gLo Tibetan ……………NAGANO, Yasuhiko……………	472
マヤ文字の言語……………八杉 佳穂……………	514
『ムラユ王統記』におけるマレー語動詞文の構造……………柴田 紀男……………	534
会話場面における人の概念の類型論 (I) ——人称代名詞の etic な成分の再考——……………吉田 集而……………	550
ブラジル北東部における民衆的小冊子 ——リテラトゥーラ・デ・コルデル——……………荒井 芳廣……………	585
明治初期における山村の食事と栄養 ——『斐太後風土記』の分析を通じて——……………藤野 淑子……………	632
博物館とコンピュータ……………及川 昭文……………	655
	Raymond VÉZINA
彙 報……………	681
国立民族学博物館研究報告寄稿要項……………	686
国立民族学博物館研究報告執筆要領……………	687

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 7 No. 3

September 1982

WADA, Yuichi	Archaic Characteristics of Galelan Consonants within North Halmaheran, and the Reconstruction of Older Galelan Forms.....	423
NAGANO, Yasuhiko	A Historical Study of gLo Tibetan	472
YASUGI, Yoshiho	The Language of Maya Glyphs.....	514
SHIBATA, Norio	Structures of Verbal Clause in <i>Sejarah Melayu</i> or <i>Malay Annals</i>	534
YOSHIDA, Shuji	Typology and Person Category in Deixis (I) Rethinking of Etic Components of Personal Pronouns	550
ARAI, Yoshihiro	<i>Literatura de Cordel</i> , Popular Booklets in North-eastern Brazil	585
FUJINO, Yoshiko	Food and Nutrition in Nineteenth Century Hida	632
OIKAWA, Akifumi	Computers Serving the Needs of Museum	
VÉZINA, Raymond	Curators and Researchers	655

彙 報 (昭和57年4月～
昭和57年6月)

人事異動

(行政職) (昇任)

4月1日 情報管理施設資料室長 佐藤嗣
(国立教育研究所庶務課長補佐)

(教育職) (配置換)

4月1日 京都大学人文科学研究所助教授
井狩彌介(第二研究部助教授)

(転任)

筑波大学 電子・情報工学系助
手 山本順人(第五研究部助手)

中山 和彦 (57. 4. 1～58. 3.31)
西之園晴夫 (57. 4. 1～58. 3.31)
祖父江孝男 (57. 4. 1～58. 3.31)
佐々木高明 (57. 4. 1～58. 3.31)
栗田 靖之 (57. 4. 1～58. 3.31)
端 信行 (57. 4. 1～58. 3.31)
杉田 繁治 (57. 4. 1～58. 3.31)
森田 恒之 (57. 4. 1～58. 3.31)
八村廣三郎 (57. 4. 1～58. 3.31)
木村 誠 (57. 4. 1～58. 3.31)
木野 光郎 (57. 4. 1～58. 3.31)
安達 香代 (57. 4. 1～58. 3.31)
柴田 正美 (57. 4. 1～58. 3.31)

企画委員

氏名	任期
栗津 潔	(56. 4. 1～58. 3.31)
五十嵐道子	(56. 4. 1～58. 3.31)
大貫 良夫	(56. 4. 1～58. 3.31)
勝井 三雄	(56. 4. 1～58. 3.31)
加藤 秀俊	(56. 4. 1～58. 3.31)
川添 登	(56. 4. 1～58. 3.31)
黒川 紀章	(56. 4. 1～58. 3.31)
後藤 和彦	(56. 4. 1～58. 3.31)
小松 左京	(56. 4. 1～58. 3.31)
高田 宏	(56. 4. 1～58. 3.31)
田邊 員人	(56. 4. 1～58. 3.31)
多比良 稔	(56. 4. 1～58. 3.31)
中山 和彦	(56. 4. 1～58. 3.31)
山代 義雄	(56. 4. 1～58. 3.31)
米山 俊直	(57. 4. 1～58. 3.31)
大林 太良	(56. 4. 1～58. 3.31)
谷 泰	(56. 4. 1～58. 3.31)

展示用機器改善委員会委員

氏名	任期
国井 利泰	(57. 4. 1～58. 3.31)
田中 琢	(57. 4. 1～58. 3.31)
辻 三郎	(57. 4. 1～58. 3.31)
長尾 眞	(57. 4. 1～58. 3.31)
中野 照海	(57. 4. 1～58. 3.31)

館内各種委員会

標本資料収集委員会委員

氏名	任期
岩田 慶治	(57. 4. 1～58. 3.31)
君島 久子	(57. 4. 1～58. 3.31)
小谷 凱宣	(57. 4. 1～58. 3.31)
藤井 龍彦	(57. 4. 1～58. 3.31)
田邊 繁治	(57. 4. 1～58. 3.31)
和田 正平	(57. 4. 1～58. 3.31)
野村 雅一	(57. 4. 1～58. 3.31)
大胡 修	(57. 4. 1～58. 3.31)
佐々木高明	(54. 6. 1～)
木野 光郎	(56. 4. 1～)
佐藤 嗣	(57. 4. 1～)

映像・音響資料収集委員会委員

氏名	任期
加藤 九祚	(57. 4. 1～58. 3.31)
杉本 尚次	(57. 4. 1～58. 3.31)
藤井 知昭	(57. 4. 1～58. 3.31)
須藤 健一	(57. 4. 1～58. 3.31)
大森 康宏	(57. 4. 1～58. 3.31)
櫻井 哲男	(57. 4. 1～58. 3.31)
中山 和芳	(57. 4. 1～58. 3.31)
佐々木高明	(54. 6. 1～)
木野 光郎	(56. 4. 1～)
佐藤 嗣	(57. 4. 1～)

図書委員会委員

氏名	任期
加藤 九祚	(57. 4. 1~58. 3. 31)
竹村 卓二	(57. 4. 1~58. 3. 31)
大給 近達	(57. 4. 1~58. 3. 31)
福井 勝義	(57. 4. 1~58. 3. 31)
大丸 弘	(57. 4. 1~58. 3. 31)
秋道 智彌	(57. 4. 1~58. 3. 31)
伊東 一郎	(57. 4. 1~58. 3. 31)
八杉 佳穂	(57. 4. 1~58. 3. 31)
佐々木高明	(54. 6. 1~)
木野 光郎	(56. 4. 1~)
佐藤 嗣	(57. 4. 1~)

国内資料調査委員会委員

氏名	任期
佐々木高明	(54. 6. 1~)
中村俊亀智	(57. 4. 1~58. 3. 31)
守屋 毅	(57. 4. 1~58. 3. 31)
大塚 和義	(57. 4. 1~58. 3. 31)
大丸 弘	(57. 4. 1~58. 3. 31)
松山 利夫	(57. 4. 1~58. 3. 31)
中牧 弘允	(57. 4. 1~58. 3. 31)
大胡 修	(57. 4. 1~58. 3. 31)
木野 光郎	(56. 4. 1~)
佐藤 嗣	(57. 4. 1~)
柴田 正美	(56. 4. 1~)

資料管理委員会委員

氏名	任期
岩田 慶治	(57. 4. 1~58. 3. 31)
中村俊亀智	(57. 4. 1~58. 3. 31)
大塚 和義	(57. 4. 1~58. 3. 31)
森田 恒之	(57. 4. 1~58. 3. 31)
端 信行	(57. 4. 1~58. 3. 31)
藤井 龍彦	(57. 4. 1~58. 3. 31)
松澤 員子	(57. 4. 1~58. 3. 31)
秋道 智彌	(57. 4. 1~58. 3. 31)
佐々木高明	(54. 6. 1~)
安達 香代	(56. 6. 17~)
佐藤 嗣	(57. 4. 1~)
柴田 正美	(56. 4. 1~)

情報システム委員会委員

氏名	任期
佐々木高明	(54. 6. 1~)
竹村 卓二	(57. 4. 1~58. 3. 31)
栗田 靖之	(57. 4. 1~58. 3. 31)
江口 一久	(57. 4. 1~58. 3. 31)
小山 修三	(57. 4. 1~58. 3. 31)
杉田 繁治	(57. 4. 1~58. 3. 31)
八村廣三郎	(57. 4. 1~58. 3. 31)
福川 圭子	(57. 4. 1~58. 3. 31)
木野 光郎	(56. 4. 1~)
佐藤 嗣	(57. 4. 1~)
柴田 正美	(56. 4. 1~)

展示委員会委員

氏名	任期
祖父江孝男	(57. 4. 1~58. 3. 31)
片倉もとこ	(57. 4. 1~58. 3. 31)
杉本 尚次	(57. 4. 1~58. 3. 31)
中村俊亀智	(57. 4. 1~58. 3. 31)
杉村 棟	(57. 4. 1~58. 3. 31)
大塚 和義	(57. 4. 1~58. 3. 31)
石毛 直道	(57. 4. 1~58. 3. 31)
福井 勝義	(57. 4. 1~58. 3. 31)
森田 恒之	(57. 4. 1~58. 3. 31)
黒田 悦子	(57. 4. 1~58. 3. 31)
松山 利夫	(57. 4. 1~58. 3. 31)
宮本 勝	(57. 4. 1~58. 3. 31)
庄司 博史	(57. 4. 1~58. 3. 31)
煎本 孝	(57. 4. 1~58. 3. 31)
崎山 理	(57. 4. 1~58. 3. 31)
重松真由美	(57. 4. 1~58. 3. 31)
木村 誠	(54. 6. 1~)
安達 香代	(54. 12. 16~)
佐藤 嗣	(57. 4. 1~)

出版委員会委員

氏名	任期
伊藤 幹治	(57. 4. 1~58. 3. 31)
守屋 毅	(57. 4. 1~58. 3. 31)
垂水 稔	(57. 4. 1~58. 3. 31)
松原 正毅	(57. 4. 1~58. 3. 31)

彙 報

大森 康宏 (57. 4. 1~58. 3.31)
 煎本 孝 (57. 4. 1~58. 3.31)
 小川 了 (57. 4. 1~58. 3.31)
 石森 秀三 (57. 4. 1~58. 3.31)
 山本 紀夫 (57. 4. 1~58. 3.31)
 長野 泰彦 (57. 4. 1~58. 3.31)

広報普及委員会委員

氏名	任期
伊藤 幹治	(57. 4. 1~58. 3.31)
君島 久子	(57. 4. 1~58. 3.31)
和田 祐一	(57. 4. 1~58. 3.31)
吉田 集而	(57. 4. 1~58. 3.31)
小山 修三	(57. 4. 1~58. 3.31)
垂水 稔	(57. 4. 1~58. 3.31)
田邊 繁治	(57. 4. 1~58. 3.31)
杉田 繁治	(57. 4. 1~58. 3.31)
中牧 弘允	(57. 4. 1~58. 3.31)
庄司 博史	(57. 4. 1~58. 3.31)
宮本 勝	(57. 4. 1~58. 3.31)
木村 誠	(54. 6. 1~)
久保庭伊佐男	(55. 4. 1~)
木野 光郎	(56. 4. 1~)
村瀬 庄蔵	(54. 6. 1~)
安達 香代	(56. 7.15~)

広報普及委員会民博通信編集部会委員

氏名	任期
君島 久子	(57. 4. 1~58. 3.31)
和田 祐一	(57. 4. 1~58. 3.31)
田邊 繁治	(57. 4. 1~58. 3.31)
垂水 稔	(57. 4. 1~58. 3.31)
宮本 勝	(57. 4. 1~58. 3.31)
庄司 博史	(58. 4. 1~59. 3.31)

広報普及委員会月刊みんぱく編集部会委員

氏名	任期
小山 修三	(57. 4. 1~58. 3.31)
杉田 繁治	(57. 4. 1~58. 3.31)
中牧 弘允	(57. 4. 1~58. 3.31)
村瀬 庄蔵	(57. 4. 1~58. 3.31)

環境保全委員会委員

氏名	任期
祖父江孝男	(51. 4. 1~)
佐々木高明	(51. 4. 1~)
伊藤 幹治	(52. 4. 1~)
加藤 九祚	(54. 5. 1~)
岩田 慶治	(56. 4. 1~)
大給 近達	(57. 4. 1~59. 3.31)
石毛 直道	(57. 4. 1~59. 3.31)
吉田 集而	(57. 4. 1~59. 3.31)
木村 誠	(54. 4. 1~)
久保庭伊佐男	(55. 4. 1~)
木野 光郎	(56. 4. 1~)
亀之園藤吉	(54. 4. 1~)
村瀬 庄蔵	(54. 4. 1~)
安達 香代	(54.12.16~)
佐藤 嗣	(57. 4. 1~)
柴田 正美	(56. 4. 1~)

防災対策委員会委員

氏名	任期
祖父江孝男	(52. 7. 1~)
佐々木高明	(52. 7. 1~)
伊藤 幹治	(52. 7. 1~)
加藤 九祚	(54. 5. 1~)
岩田 慶治	(56. 4. 1~)
木村 誠	(54. 4. 1~)
久保庭伊佐男	(55. 4. 1~)
木野 光郎	(56. 4. 1~)
亀之園藤吉	(54. 4. 1~)
村瀬 庄蔵	(54. 4. 1~)
安達 香代	(54.12.16~)
佐藤 嗣	(57. 4. 1~)
柴田 正美	(56. 4. 1~)

大学院委員会委員

氏名	任期
祖父江孝男	(54. 6. 1~)
佐々木高明	(54. 6. 1~)
伊藤 幹治	(54. 6. 1~)
加藤 九祚	(54. 6. 1~)
岩田 慶治	(56. 4. 1~)

和田 祐一 (57. 4. 1~58. 3.31)
 杉本 尚次 (57. 4. 1~58. 3.31)
 木村 誠 (54. 6. 1~)

受託学生審査委員会

氏名	任期
祖父江孝男	(54. 6. 1~)
佐々木高明	(54. 6. 1~)
伊藤 幹治	(54. 6. 1~)
加藤 九祚	(54. 6. 1~)
岩田 慶治	(56. 4. 1~)
君島 久子	(57. 4. 1~58. 3.31)
竹村 卓二	(57. 4. 1~58. 3.31)
和田 祐一	(57. 4. 1~58. 3.31)
大給 近達	(57. 4. 1~58. 3.31)
杉本 尚次	(57. 4. 1~58. 3.31)
中村俊亀智	(57. 4. 1~58. 3.31)
藤井 知昭	(57. 4. 1~58. 3.31)
杉村 棟	(57. 4. 1~58. 3.31)
和田 正平	(57. 4. 1~58. 3.31)
杉田 繁治	(57. 4. 1~58. 3.31)

講堂管理運営委員会委員

氏名	任期
佐々木高明	(57. 4.15~58. 4.14)

藤井 知昭 (57. 4.15~58. 4.14)
 守屋 毅 (57. 4.15~58. 4.14)
 大森 康宏 (57. 4.15~58. 4.14)
 木村 誠 (56. 4.15~)
 久保庭伊佐男 (56. 4.15~)
 木野 光郎 (56. 4.15~)
 村瀬 庄蔵 (56. 4.15~)
 安達 香代 (56. 4.15~)
 柴田 正美 (56. 4.15~)

施設整備委員会委員

氏名	任期
佐々木高明	(55. 5. 8~)
片倉もとこ	(57. 5. 8~58. 5. 7)
大給 近達	(57. 5. 8~58. 5. 7)
中村俊亀智	(57. 5. 8~58. 5. 7)
吉田 集而	(57. 5. 8~58. 5. 7)
大胡 修	(57. 5. 8~58. 5. 7)
木村 誠	(55. 5. 8~)
木野 光郎	(56. 4. 1~)
亀之園藤吉	(55. 5. 8~)
安達 香代	(56. 9. 2~)
佐藤 嗣	(57. 4. 1~)

海外における研究・調査・収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
松澤 員子	助教授(第2研究部)	57. 4.23	57. 5. 1	スイス
吉本 忍	助手(第2研究部)	57. 5.19	57. 9.30	インドネシア
大森 康宏	助手(第3研究部)	57. 5.28	57. 9.23	フランス, ドイツ民主共和国, ドイツ連邦共和国, オーストリア, 連合王国
杉田 繁治	助教授(第5研究部)	57. 5.30	57. 6.27	タイ
伊東 一郎	助手(第3研究部)	57. 6. 2	57.12. 1	ブルガリア, ギリシア
片倉 素子	教授(第3研究部)	57. 6. 5	57.12. 5	連合王国, フランス, スイス, イタリア, エジプト, クウェイト, サウディアラビア, アラブ 首長国連邦, シリア, オーマン, イラン
大塚 和義	助教授(第1研究部)	57. 6. 9	57. 6.15	ソビエト社会主義共和国連邦

彙 報

君島 久子	教授 (第1研究部)	57. 6. 20	57. 7. 5	香港
大丸 弘	助教授 (第5研究部)	57. 6. 21	57. 8. 7	フランス
石毛 直道	助教授 (第4研究部)	57. 6. 21	57. 7. 15	中華人民共和国
梅棹 忠夫	館長	57. 6. 24	57. 7. 12	モンゴル人民共和国
加藤 九祚	教授 (第4研究部)	57. 6. 24	57. 7. 12	モンゴル人民共和国
松原 正毅	助教授 (第2研究部)	57. 6. 24	57. 7. 12	モンゴル人民共和国
庄司 博史	助手 (第3研究部)	57. 6. 24	57. 7. 12	モンゴル人民共和国

来館者抄

4月2日	Abdullah NASSEEF (サウジアラビア王国, キング・アブドゥルアジーズ大学学長)	5月7日	梅原 猛 (京都市立芸術大学教授)
9日	Olof G. TANDBERG (スウェーデン王国, スウェーデン王立科学アカデミー外事局長)	11日	Martin FRIEDMAN (米国, ウォーカー・アート・センター館長) Mildred FRIEDMAN (米国, ウォーカー・アート・センターデザインキュレーター)
12日	Duncan CAMERON (カナダ, グレンボーン博物館長) 中国文物工作者友好訪問団 任 質 斌 (団長) 郭 芳 為 (秘書長) 段 文 傑 趙 友 賢 史 樹 青 史 葦 湘 田 增 華	13日	小澤 重男 (東京外国語大学教授) Urgunge ONON (連合王国, リーズ大学教授)
15日	村松 繁樹 (大阪市立大学名誉教授) Soorya Lal AMATYA (ネパール王国, トゥリブバン大学人文社会科学研究所長) Shamba Bhakta PANT (ネパール王国, ドゥリブバン大学パドマカンヤ分校長)	25日	奥田 省吾 (帝国女子大学副学長) 三木 正伸 (帝国女子大学教授)
16日	甲田 和衛 (大阪大学教授)	27日	Cyril S. BELSHAW (カナダ, 国際人類学・民族学連合会長)
21日	黒木 淳吉 (宮崎県総合博物館長)	28日	国立シンガポール大学人文・社会科学分野代表团 Lau Teik SOON Wong LINKEN Syed Hussein ALATAS Eddie Kuo Mitsuki KUMEKAWA
22日	今堀 誠二 (広島女子大学学長)	6月1日	文 浩 (中華人民共和国, 内蒙古自治区博物館長)
	寺本 英 (京都大学教授)	8日	稲田 浩二 (京都女子大学教授)
	日高 敏隆 (京都大学教授)	15日	José Tola PASQUEL (ペルー共和国, カトリック大学長) Oscar Mavila MARQUINA (ペルー共和国, カトリック大学教授) José León HERRERA (ペルー共和国, カトリック大学教授)
27日	北村 甫 (東京外国語大学, アジア・アフリカ言語文化研究所長)		
	樋口 敬二 (名古屋大学教授)		

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認められた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスマ入れ、レタリングは、編集委員会にて処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園10-1

国立民族学博物館内

国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。
[柳田 1942: 67-69]
[Leach 1961: 123]
[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]
ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。
[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]
9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。
 - (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
 - (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題(タイトル)、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本文の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』 13(4): 311-330。

Bohannan, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」 柳田国男編『日本民俗学研究』 岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

- 1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse.
In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language,
The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

- 1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

- 1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

- 1974 『シャーマニズム——古代のエクスタシー技術——』 堀 一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

- 1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 7卷3号

監 修
梅 棹 忠 夫
編集委員長
伊 藤 幹 治
編 集 委 員
石 森 秀 三
煎 本 孝
大 森 康 宏
小 川 了
長 野 泰 彦
松 原 正 毅
守 屋 毅
山 本 紀 夫

昭和 58 年 1 月 25 日 発 行 非 売 品

国立民族学博物館研究報告 7卷3号

編集・発行 国立民族学博物館

〒565 吹田市千里万博公園 10-1
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社

〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol. 7 no. 3
September 1982

- | | |
|------------------------------------|--|
| WADA, Yuichi | Archaic Characteristics of Galelan Consonants within North Halmaheran, and the Reconstruction of Older Galelan Forms |
| NAGANO, Yasuhiko | A Historical Study of gLo Tibetan |
| YASUGI, Yoshiho | The Language of Maya Glyphs |
| SHIBATA, Norio | Structures of Verbal Clause in <i>Sejarah Melayu</i> or <i>Malay Annals</i> |
| YOSHIDA, Shuji | Typology and Person Category in Deixis (I)
Rethinking of Etic Components of Personal Pronouns |
| ARAI, Yoshihiro | <i>Literatura de Cordel</i> , Popular Booklets in North-eastern Brazil |
| FUJINO, Yoshiko | Food and Nutrition in Nineteenth Century Hida |
| OIKAWA, Akifumi
VÉZINA, Raymond | Computers Serving the Needs of Museum Curators and Researchers |



National Museum
of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X